

令和 7 年 10 月 2 日開催

令和 7 年度第 1 回上越市博物館協議会資料 (歴史博物館)

- | | |
|---------------------|------------------|
| (1) 令和 6 年度事業実施状況 | ・・・・・・・・ 1～9 頁 |
| (2) 令和 8 年度事業計画 (案) | ・・・・・・・・ 10～11 頁 |

上越市立歴史博物館 令和 6 年度事業実施状況

1 展覧会事業

展覧会名	会 期	内 容	入館者数（うち 展覧会観覧者数）
《特集展示》 高田盲学校資料展	3 月 29 日（金） ～ 6 月 16 日（日） （R5・3 日間 +R6・69 日間）	歴史博物館が参画した「守れ！文化財 ～モノとヒトに光を灯す～」事業（文化財 庁 Innovate MUSEUM 事業、中核館：新潟 県立歴史博物館）で資料整理・調査を行 った高田盲学校関係資料を紹介した。	目標：27,700 人 入館者数（R6 の み）： 35,084 人 （4,921 人） 満足度：93.5%
《企画展Ⅰ》 徳川四天王榊原康 政の系譜－譜代名 門の史料と歴史－	7 月 13 日（土） ～ 11 月 4 日 （月・祝） （100 日間） ※観蓮会期間無休	榊原家の藩祖康政は徳川家康に仕え、 幕府創業の功臣として「徳川四天王」と 称された武将である。本展では、平成 16 年（2004）に地元へ里帰りした榊原家史 料（県指定文化財・当館寄託資料）を中 心に、20 年間の研究成果も踏まえて、最 も長く高田藩を治め「高田の殿さま」と して親しまれた大名榊原家の歴史を紹介 した。	目標：20,000 人 入館者数： 26,678 人 （7,684 人） 満足度：91.0%
《企画展Ⅱ》 探検！むかしのく らし	11 月 29 日（金） ～ 令和 7 年 3 月 9 日（日） （81 日間）	歴史博物館で所蔵する豊富な民俗資 料の中から、家事にかかわる道具や生活 を豊かにした道具などを展示し、大正か ら昭和時代のくらしの移り変わりを紹 介した。本展は小学 3 年生の社会科学習 に合わせて毎年開催しており、学校見学 時には資料解説を行うとともに、児童向 けワークブックを無償配布して学習を サポートした。	目標：7,600 人 入館者数： 8,308 人 （3,246 人） 満足度：91.0%
《令和 7 年度逸品 展示》 逸品展示「御所参 内・聚楽第行幸図 屏風」・「観桜会 のはじまりとその時 代」	令和 7 年 3 月 28 日（金） ～ 6 月 15 日（日） （R6・3 日間 +R7・69 日間）	3 年ぶりに「御所参内・聚楽第行幸図 屏風」（個人蔵・当館寄託）を公開したほ か、「高田城址公園観桜会 100 回」の開催 にあわせて、館蔵資料を中心に、観桜会 のはじまりとその時代について紹介し た。	目標：700 人 入館者数（R6 の み）： 984 人（155 人）

常設展のみ	52 日間	常設展示「越後の都」の展示替えを年 4 回実施した。	目標：11,000 人 入館者数： 8,499 人 (1,795 人) 満足度：75.7%
<ul style="list-style-type: none"> ・開館日数：305 日 ・目標入館者数は 67,000 人（企画展開催期間：56,000 人、常設展のみの期間：11,000 人）。 ・入館者数実績は 79,553 人（企画展開催期間：71,054 人、常設展のみの期間：8,499 人） ・目標満足度を 80%とする。（満足度は「満足」「やや満足」「やや不満足」「不満足」の項目から「満足」「やや満足」と回答した人の割合） ・令和 6 年度満足度:87.8% 			



令和 6 年度
企画展「徳川四天王榊原康政の系譜」チラシ



令和 6 年度
企画展「むかしのくらし」チラシ

2 教育普及事業

(1) 連続講座

展覧会名	内 容
《企画展Ⅰ》 徳川四天王榊原康政の系譜－譜代名門 の史料と歴史－	日 時：令和 6 年 8 月 10 日（土）、9 月 8 日（日）10 月 5 日（土） 時間はいずれも 10:00～11:30 参加費：無料（ただし、観覧料が必要） 参加者数：79 人

※企画展Ⅰ「徳川四天王榊原康政の系譜－譜代名門の史料と歴史－」が、県指定文化財「榊原家史料」に関するこ 20 年間の学術研究の成果をふまえた展覧会であったことから、展覧会の内容をより

深く紹介するために、学芸員による連続講座（3回）を開催した。

(2) 展示解説会

展覧会名	内 容
《企画展Ⅰ》 徳川四天王榊原康政の系譜－譜代名門の史料と歴史－	日 時：令和6年7月20日（土）、11月2日（日） 時間はいずれも 10:00～11:00 参加費：無料（ただし、観覧料が必要） 参加者数：20 人
《企画展Ⅱ》 探検！むかしのくらし	小学校数：48 校（このうち市内 39 校） 児 童 数：1,540 人（このうち市内 1,278 人）

※土日祝日と観桜会・ゴールデンウィーク期間中は、常設展示室に展示解説員を配置し、随時解説対応を行った。

(3) 視察・団体の見学対応

視察・団体の申込みの際に展示解説の依頼があった場合、随時対応を行った。

・対応人数：1,143 人（31 件）

(4) イベント

イベント名	内 容
岡沢拠点収蔵施設公開	内 容：国重要有形民俗文化財の「どぶね」のほか約3万点の民俗資料を収蔵する岡沢拠点収蔵施設の一般公開を行った。 日 時：令和6年5月4日（土）、8月11日（日）、8月12日（月・祝） 時間はいずれも 10:00～16:00 参加費：無料 入館者数：93 人
「国際博物館の日」記念事業に伴う施設無料開放	内 容：ICOM（国際博物館会議）の「国際博物館の日」記念事業に協力するため、高田城址公園内の歴史博物館・高田城三重櫓を無料開放した。 日 時：令和6年5月18日（土） 9:00～17:00 入館者数：396 人 ※高田城三重櫓は 445 人
教育コラボ 2024 学び愛フェスタ 関連イベント「わくわく☆れきしクイズラリー」	内 容：学び愛フェスタ関連イベントとして、展示内容を知ってもらうとともに施設回遊の機会とするため、歴史博物館・高田城三重櫓・日本スキー発祥記念館を会場にクイズラリーを実施した。 日 時：令和6年11月16日（土） 9:00～17:00 対 象：市内の幼児及び小中学生 参加費：無料 参加者数：71 人 ※歴史博物館 32 人、高田城三重櫓 28 人、日本

	スキー発祥記念館 11 人
教育コラボ 2024 学び愛フェスタに伴う施設無料開放 「親子で学ぼう！上越のれきし」	内 容：学び愛フェスタの開催にあわせて、歴史博物館と所管する高田城三重櫓、日本スキー発祥記念館において市内小中学生と同伴の保護者 1 名の入館料を無料とした。 日 時：令和 6 年 11 月 16 日（土） 9:00～17:00 入館者数：131 人 ※歴史博物館 57 人、高田城三重櫓 55 人、日本スキー発祥記念館 19 人

(5) 刊行物

刊行物名	内 容
企画展ブックレット『徳川四天王榊原康政の系譜－譜代名門の史料と歴史－』	企画展ブックレットとして作成。 (規格：216 mm×166 mm、88 頁、印刷部数：1,500 部、頒布価格：1,000 円)
小学生用ワークシート『探検！むかしの暮らし 探検ブック』	小学 3 年生の社会科学習にあわせたワークシートを作成し、来館する小学 3 年生に無償配布した。 (規格：A4 判 8 頁、印刷部数：2,500 部)
『上越市立歴史博物館 年報・紀要 第 5 号』 ※歴史博物館ホームページ上でデジタル版を公開	掲載内容： (1) 年報 Ⅰ 博物館の運営 Ⅱ 令和 5 年度（2023）事業報告 Ⅲ 条例等 Ⅳ 職員一覧 (2) 紀要 【研究ノート】戦前における上越地域への修学旅行－直江津を中心として－（俵木大知学芸員執筆） 【資料紹介】絵画学習としての模写－令和 6 年度収集「片桐文邦資料」から－（小川陽子学芸員執筆）



企画展ブックレット『榊原四天王榊原康政の系譜』



小学生用ワークシート『探検！むかしの暮らし』

(6) 博物館実習

実習期間	実習生の所属大学	内 容
令和6年8月6日(火) ～8月10日(土) [5日間 30時間]	富山大学芸術文化学 部・聖心女子大学現 代教養学部 実習生3名	講義:「地方博物館の現状」「博物館の教育普及事業 など」 実習:「資料の取扱い」「資料の整理」「資料台帳作 成について」など ※受講条件は、上越地域(上越市・妙高市・糸魚川 市)出身者もしくは市内の大学に通う博物館学 芸員を志望する学生

(7) 出前講座・職員派遣

講座名	内 容
【出前講座】 公益財団法人旧高田藩和親会主催 令和6年度 第61回和親会総会 講演	期日:令和6年5月12日(日) 内容:宝暦の大地震と榊原家 会場:宇喜世 参加者数:60人
【出前講座】 公益財団法人旧高田藩和親会主催 扇和会歴史講座	期日:令和6年6月9日(日) 演題:太田原儀兵衛諫状 会場:林泉寺 参加者数:23人
【出前講座】 上越教育大学主催 上越地域の歴史・文化に触れる体験 (高田町歩き見学)	期日:令和6年6月12日(水) 演題:上越地域の歴史・文化に触れる体験 会場:町家交流館 高田小町、旧今井染物屋 参加者数:15人
【出前講座】 上越武道連盟主催 上越の歴史・文化研修会	期日:令和6年6月22日(土) 演題:高田藩最後の殿様 榊原政敬公 会場:謙信公武道館 参加者数:50人
【出前講座】 上越市立中郷小学校主催 「中郷のすてき探し」	期日:令和6年7月9日(火) 演題:岡沢拠点収蔵施設の見学 会場:岡沢拠点収蔵施設 参加者数:11人
【出前講座】 新潟日報カルチャースクール上越教室主 催 徳川四天王榊原康政の系譜	期日:令和6年7月13日(土) 演題:徳川四天王榊原康政の系譜(見学講座) 会場:上越市立歴史博物館 参加者数:10人

【出前講座】 上越市社会教育課主催 謙信 KIDS プロジェクト「城と武将」	期日：令和6年7月21日（日） 演題：高田城と武将たち 会場：上越市立歴史博物館・高田城址公園内 参加者数：24人
【出前講座】 上越市観光コンベンション協会主催 観光ボランティアガイド養成講座	期日：令和6年7月24日（水） 演題：高田城址公園内の史跡巡り 会場：上越市立歴史博物館・高田城址公園内 参加者数：9人
【出前講座】 桑取地区公民館主催 桑取地区公民館事業	期日：令和6年8月20日（火） 演題：宝暦地震と高田藩 会場：桑取地区公民館 参加者数：10人
【出前派遣】 琢磨塾主催歴史講演会	期日：令和6年9月1日（日） 演題：幕末維新の高田藩 会場：上越市民プラザ 参加者数：30人
【出前講座】 きよさと観光交流協会主催 ふるさと温故知新講座	期日：令和6年9月7日（土） 演題：越後の都と徳川の城 会場：清里コミュニティプラザ 参加者数：70人
【出前講座】 高田地区公民館主催 今一度、知ろう！伝えよう！私たちの郷土	期日：令和6年9月17日（火） 演題：高田町年寄森家その役割とくらし 会場：高田地区公民館 参加者数：20人
【出前派遣】 新潟県社会福祉協議会主催 シニアカレッジ新潟 基礎応用過程2年次 「新潟県の歴史」（上越編）	期日：令和6年9月24日（火） 演題：高田藩下級藩士の生活 会場：高陽荘 参加者数：30人
【職員派遣】 小千谷市公民館主催 高齢者学級「富久寿大学」	期日：令和6年10月1日（火） 演題：越後の都高田と徳川四天王榊原家のれきし 会場：小千谷市民会館 参加者数：60人
【出前講座】 公益財団法人 旧高田藩和親会主催 第15回 郷土史フォーラム講演 コーディネーター	期日：令和6年10月19日（土） 演題：榊原康政公の奥方 会場：高田ターミナルホテル 参加者数：50人

【出前講座】 新潟県公立学校退職校長会高田支部主催 高田支部研修会	期日：令和6年10月26日（土） 演題：譜代の重臣－榊原家の発祥と康政の系譜 会場：上越市立歴史博物館 参加者数：50人
【職員派遣】 新潟大学非常勤講師	期日：令和6年10月30日（水）、11月6日（水）、 11月13日（水） 演題：近世越後諸地域の歴史と社会 会場：新潟大学 参加者数：150人
【出前講座】 大町5丁目老人会主催 大町5丁目老人会講座	期日：令和6年11月10日（日） 演題：越後の都と徳川の城 会場：旭会館 参加者数：20人
【出前講座】 高田地区公民館主催 今一度、知ろう！伝えよう！私たちの郷土	期日：令和6年11月13日（水） 演題：上越の近代を拓いた先人たち（実業家） 会場：高田地区公民館 参加者数：20人
【出前講座】 東本町5丁目老人会主催 東本町5丁目老人会講座	期日：令和7年2月8日（土） 演題：宝暦大地震と榊原家 会場：曙光会館 参加者数：20人
【出前講座】 上越茶道会主催 上越茶道会講演会	期日：令和7年3月9日（日） 演題：高田姫と松平光長の時代－大名物初花と高 田城－ 会場：春日謙信交流館 参加者数：80人
【出前講座】 新潟県経営者協会主催 新潟県経営者協会講演会	期日：令和7年3月27日（木） 演題：頸城油田の盛衰 会場：ホテルハイマート 参加者数：20人

・令和6年度 22件 832人

(8) 人権・同和問題研修会

常設展示「越後の都」を会場として、上越市教育委員会学校教育課主催による小中学校教員および教育委員会職員対象（学校管理職、人権教育担当教諭、市教育委員会職員、上越教育事務所職員）の人権・同和問題研修会を行った。この他、高等学校などから依頼があった場合には随時対応した。

研修名	内 容
学校教育課主催研修	対象：小中学校教員、教育委員会職員（学校管理職、人権教育担当教諭、市教育委員会職員、上越教育事務所職員） 期日：5月1日（水）、5月9日（木）、5月14日（火）の3日間 参加者数：70人
高等学校依頼による研修	対象：高田商業高等学校 期日：8月23日（金） 参加人数：10人
上越地区同和教育研究協議会 社会同和教育部会研修会	対象：上越地区小中学校同和教育担当者など 期日：11月20日（水） 参加人数：12人

3 調査研究事業

(1) 民俗資料整理作業

- ・令和2年・3年度の新規受入れ資料のクリーニング・台帳整備を行った（320件約500点）。
- ・資料の適正管理のため、岡沢拠点収蔵施設の清掃作業を定期的実施した。

(2) 歴史・民俗資料収集

- ・購入数：9件140点（歴史資料6件103点、参考図書3件37冊）
- ・寄贈数：52件681点（歴史資料16件243点、民俗資料36件438点）

(3) 調査研究事業

- ・令和6年度企画展「徳川四天王榊原康政の系譜」開催にかかる調査
- ・令和7年度企画展開催にかかる調査
- ・日本スキー発祥記念館の収蔵資料調査・整理

4 入館者数

【令和6年度 上半期（4月～9月）】

（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計
総入館者数	26,107	6,529	4,232	6,176	8,661	5,583	57,288
展示観覧者数	2,370	2,021	938	1,392	2,404	1,698	10,823
有料観覧	2,112	1,388	878	1,184	2,257	1,531	9,350
無料観覧	258	633	60	208	147	167	1,473
カフェ・屋上等	23,737	4,508	3,294	4,784	6,257	3,885	46,465

【令和6年度 下半期（10月～3月）】

（単位：人）

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期計	年間合計
総入館者数	6,304	5,204	1,627	2,585	2,716	3,829	22,265	79,553
展示観覧者数	1,987	1,337	348	1,160	1,184	969	6,985	17,808
有料観覧	1,662	1,046	255	439	395	690	4,487	13,837
無料観覧	325	291	93	721	789	279	2,498	3,971
カフェ・屋上等	4,317	3,867	1,279	1,425	1,532	2,860	15,280	61,745

【入館者数の推移】

（単位：人）

	開館日数	総入館者数	展示観覧者数			無料ゾーン 利用者数
			有料	無料	合計	
平成30年度※1	215日	41,134	11,186	4,918	16,104	25,030
令和元年度	315日	82,741	12,682	3,959	17,088	66,110
令和2年度	278日	45,558	7,978	3,911	11,683	33,669
令和3年度	310日	61,175	12,487	3,759	16,314	44,429
令和4年度	311日	66,911	10,886	3,747	14,633	52,278
令和5年度	311日	64,763	10,942	3,565	14,453	50,256
令和6年度	305日	79,553	13,837	3,971	17,808	61,745

※1：平成30年度は7月21日からの入館者数

令和 7 年 10 月 2 日開催

令和 7 年度第 1 回上越市博物館協議会資料 (水族博物館)

- | | | | |
|-----|-----------------|------------|---------|
| (1) | 令和 6 年度事業実施状況 | ・・・・・・・・・・ | 1～13 頁 |
| (2) | 令和 8 年度事業計画 (案) | ・・・・・・・・・・ | 14～17 頁 |

上越市立水族博物館 令和6年度事業実施状況

1 展示の状況

常設展示の展示替えや各種プログラムの実施などにより展示の充実を図るとともに、特別展及び企画展を開催し、施設の魅力や学習効果を高めた。

(1) 常設展示の状況

事業内容	期 間	内 容
イワシ給餌イベント「舞鰯 Shinyllusion」の実施	通年 ※10月1日(火) ～11月29日(金) を除く	躍動感あふれるイワシの群れの動きを紹介するために、複雑な擬岩を備えるうみがたり大水槽の特徴をいかしたイワシの給餌イベント「舞鰯 Shinyllusion」を実施した。
大水槽給餌の実施	10月1日(火)～ 11月29日(金)	マイワシの入手が困難であり、「舞鰯 Shinyllusion」の名称でのイベント実施が困難になったため、「大水槽給餌」として代替イベントを実施した。水槽内の餌が出る給餌装置を使用し、イサキやマアジの魚群の動きを演出した。
マゼランペンギンの繁殖		「マゼランペンギンなど鳥類に対する鳥インフルエンザ対策」の一部改訂により、繁殖への影響は比較的少なく、3月末ごろから産卵が始まり、10羽が巣立ちした。
ドルフィンパフォーマンスの実施	4月15日(月)～ 11月17日(日)	季節に合わせたテーマ(春、夏、秋)を設定し、演示展示の内容を変更することで、バンドウイルカの有する様々な能力を紹介した。
ペンギンフィーディングの実施	通年	来館者が水中を泳ぐマゼランペンギンに餌をあげられる体験型給餌イベントを実施した。鳥インフルエンザ対策による休止中は、解説のみ実施した。
発見！海の生きもの観察し隊	5月25日(土)～ 11月30日(土)	スタッフとともに水生生物の特徴や生態を学ぶことができるプログラムを実施した。来館者が胴長を履き、タッチングプールに入水してスタッフから各生物の魅力について発見してもらうことを目的とした。
水中ドルフィンパフォーマンス「Art of Dolphin」の実施	11月18日(月)～ 翌年度4月13日(日)	屋外でのパフォーマンス実施が困難になる冬期の演示展示として、水中でのドルフィンパフォーマンスを実施した。
イワシ給餌イベント「舞鰯 Shinyllusion ～Japanese Snow Dome～」の実施	1月17日(金)～ 3月27日(木)	「舞鰯 Shinyllusion」の冬期限定施策として、水槽の各所に泡が発生する装置を設置。イワシの躍動感に加え幻想的な雰囲気演出した。

(2) 特別展・企画展の実施状況

事業内容	期 間	内 容
マンスリー水槽の設置	通年	<p>学習機会の増加、話題創出を図るための企画として、月単位で担当者いちおしの生物を設定し展示を更新するマンスリー水槽を設置し、情報発信を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月：ヌタウナギ ・5月：ハオコゼ ・6月：ヒラメ ・7月：ネコザメ ・8月：マンジュウイシモチ ・9月：ゲンゴロウ ・10月：アカムツ ・11月：マツカサウオ ・12月：イサザアミ ・1月：ミノカサゴ ・2月：ウツボ ・3月：メダカ
特別展「鈴木香里武×うみがたり ごきげんようぎょ展」の開催	前年度 3 月 20 日（水・祝）～6 月 9 日（日）	岸壁幼魚採集家の鈴木香里武氏との共同施策として、幼魚の展示や解説、幼魚採集方法の解説映像放映、ハンズオン展示を実施したほか岸壁採集イベントを実施した。
「すみっこぐらしすいぞくかん meets 上越市立水族博物館うみがたり」の開催	6 月 26 日（水）～9 月 23 日（月・祝）	<p>「すみっこぐらし」コンテンツのひとつである「すみっこぐらし水族館」とのタイアップを行い、館内全体で、すみっこぐらしオリジナル生きもの解説板やすみっこぐらしのキャラクターの装飾を実施した。催事ホールでは、すみっこに似ている生きものの生体展示を行った。</p> <p>展示魚種：カクレクマノミ、チンアナゴ、カエルアンコウ他</p>
特別展「まるっとぴたっとダンゴウオ」の開催	1 月 17 日（金）～翌年度 4 月 13 日（日）	ダンゴウオ科魚類に焦点を当て、解説パネル、生体展示、遊んで学ぶエリアの設置を行い、ダンゴウオ科魚類の魅力を発信した。また、当館で注力しているサクラダンゴウオの飼育、繁殖、研究に関する取り組みを紹介することで、サクラダンゴウオの認知度向上に努め、楽しく学べる展示での満足度向上に繋げる特別展とした。また、隔週で飼育スタッフによるダンゴラボトークを実施した。

(3) その他展示や活動の状況

事業内容	期 間	内 容
うみがたりカレッジ公開講座「特大ヒラメの給餌解説」の実施	通年 ※水、日曜日のみの実施	タッチングプールにおいて飼育展示している大型ヒラメへの給餌を通して、ヒラメの生態や摂餌について紹介する給餌解説を実施した。
和 水 槽 「 春 ～ Joetsu Spring」の実施	前年度3月2日（土）～4月14日（日）	桜の咲く春の上越を表現したレイアウトの水槽を設置。
「サクラ咲く 春のうみがたり 2024」の実施	前年度3月20日（水・祝）～4月14日（日）	サクラの要素を取り入れた「Art of Dolphin」、「舞鰯 Shinyllusion」などを実施した。また「第99回高田城址公園観桜会」に合わせ、会場への活魚車の出張展示を前年度3月30日（土）と4月6日（土）に実施した。 展示魚種：サクラダイ他
「ソロ活推奨！大人のおひとりさま水族館」の実施	4月13日（土）	夜間レジャー需要の取り込みを目的に、大人を対象とした夜間特別開館を実施した。
GW 特別展示「幻魚ウィーク水槽」「幻魚のぼり」の実施	4月27日（土）～5月6日（月・祝）	ゴールデンウィーク（GW）期間に、上越地域名産の1つである「ゲンゲ（幻魚）」を「幻魚ウィーク（Gengyo Week=GW）水槽」として特別水槽にて展示した。また、5月5日の「こどもの日」に掲げる「こいのぼり」から連想した、うみがたりオリジナル「幻魚のぼり」を作成できるブースを設置した。
「なおえつこども Labo - こどもたちのランドマーク -ワークショップ「海にまつわること」」への出展	5月27日（月）	無印良品が行う「こどもだけのコミュニティスペース」をコンセプトにしたイベントに合わせ、無印良品 直江津で危険生物の観察会や海の遊び方についてレクチャーを実施した。
初夏施策「初夏のペンまつり」の実施	5月25日（土）～6月30日（日）	マゼランペンギンクラフトフェスタに参加し、2階マゼランペンギンミュージアムにてマゼランペンギンミュージアム壁面施策「うみがたりペンギンペアマップ」、「うみがたりペンギン性格診断」、「フォトギャラリーリニューアル」を実施した。 また、期間中の土日にはマゼランペンギンリモート巣穴ツアーを実施し、ペンギンたちの巣穴の中での様子をモニターに映しながら解説を行った。
夜間特別開館「ペンギンナイト」の実施	6月7日（金）・8日（土）	「magefes YOICHI」開催に合わせ、夜間特別開館を行い、ペンギンに関するクイズやペンギンのタグ作りワークショップを実施した。

うみがたり周年記念イベント	6月22日(土)	うみがたりの6周年を記念して、直江津まちづくり活性化協議会を中心とした実行委員会に参画し、記念イベントを実施。
妙高サンシャインランドへの活魚車出展	6月22日(土)・23日(日)	妙高サンシャインランドに活魚車で出展し、会場を賑わせるとともに館内で開催中の特別展の告知を実施した。 展示魚種：ウツボ、マダイ、コモンフグ他
来館 250 万人達成セレモニーの実施	7月18日(木)	入館者250万人を達成したためセレモニーを行い、来館者への感謝を伝えるとともにメディアに向けて情報を発信し話題を提供した。
スポーツ大会水槽の展示	7月13日(土)～9月8日(日)	パリオリンピックにちなみ、日本とフランスの国旗をイメージした色合いの生きものを展示した。 展示魚種：キンギョ(丹頂)、ミズタマハゼ、キンギョハナダイ、ルリスズメダイ
ワークショップ「真珠取り出し体験」の実施	通年	本物のアコヤ貝から真珠を取り出す体験ができるワークショップを自主事業として実施した。
ワークパル上越「出張ワークショップ 海の危険な生き物観察」の実施	8月1日(木)	海に暮らす危険な生きものの生態を学ぶ講座を上越勤労者福祉サービスと連携実施した。海水浴などのレジャーを安全に楽しめるよう、触ってはいけない生きものを観察し、レクチャーした。 展示魚種：アカクラゲ、ハオコゼ、ゴンズイ、ウミケムシ
夜間特別開館「ナイトアクアリウム DEEP ナイト」の実施	8月3日(土)・24日(土)	暗い館内を、ライトを片手に探検するナイトアクアリウムを実施した。深海のような暗さ・深さをテーマにし、飼育スタッフによる生きものの深い話や、暗闇のなかで発光生物を使用した発光実験を行うことで海の生きものへの興味をもつきっかけを提供した。+
軽井沢プリンスホテル「観て、触って、知る！海の生き物観察会」の実施	8月4日(日)	海に暮らす危険な生きものの生態を学ぶ講座を軽井沢プリンスホテルと連携実施した。海水浴などのレジャーを安全に楽しめるよう、触ってはいけない生きものを観察し、レクチャーした。 展示魚種：アカクラゲ、ハオコゼ、ゴンズイ
Sunset Chill Time の実施	8月8日(木)～10日(土)	日本海に沈む美しい夕日と夕焼けを眺めることのできるイベントを実施した。日本海テラスには特別にゆったりくつろぐことのできるチェアーを設置し、館内には癒しの BGM を流すほか、日没前後にイルカの公開練習を実施した。

北里大学 マリンサイエンスセミナーの実施	8月17日(土)・18日(日)	北里大学海洋生命科学部の教授陣による生きものの不思議に関するトークイベントを実施した。17日は筒井繁准教授による「おさかなのヌルヌルの秘密」、18日は朝日田卓教授による「恐ろしくないサメの話」を開講した。
ゴマフアザラシ子獣愛称投票	9月14日(土)～10月14日(月・祝)	令和6年3月に誕生したゴマフアザラシの愛称を5つの候補の中から、来館者に投票いただいた。
「秋のうみがたり 2024」の実施	9月21日(土)～11月24日(日)	2種類の「ナイト施策」、ハロウィンバージョンのドルフィンパフォーマンスや大水槽給餌イベント、SDGs週間に合わせて「アクアポニックス」を継続して行うなどバラエティに富んだ施策を行うことで生きものの魅力発信や話題づくりを実施した。
「うみがたりガーデン 2024」(アクアポニックス)の実施	9月21日(土)～11月24日(日)	新潟県立海洋高等学校と共同で、フィーディングプールの飼育水を利用した水耕栽培(アクアポニックス)を実施した。収穫作物を当館の藻食性魚類の餌とする循環型の飼育展示を行うとともに、その仕組みや成果について生徒によるレクチャーを実施した。
第46回動物愛護フェスティバルin上越への出展	9月23日(月・祝)	9月20日～26日までの動物愛護週間に合わせて実行委員会が主催するイベントへパネル展示を行った。
夜間特別開館 「カメラナイト水族館」の実施	9月28日(土)	「大人の趣味に没頭する」をテーマにカメラ撮影に特化した夜間特別開館を実施した。写真撮影しやすいよう映り込みが少なくなる照明調整や、撮影小道具を用意した。スタッフのオススメする撮影方法のパネルを設置し、初心者でも楽しめる工夫を施した。また、撮影した写真でのフォトコンペを開催した。
「カスカベ防衛隊と人類おさかな計画の謎 meets 上越市立水族博物館 うみがたり」の実施	10月4日(金)～翌年度4月13日(日)	国民的キャラクター「クレヨンしんちゃん」を起用した学習要素のある謎解きイベントを実施した。広い世代に訴求しつつ、楽しみながら海の生きもの、環境問題について学ぶ謎解きを実施した。
「姉妹都市と上越市の観光と物産展」への出展	10月5日(土)・6日(日)	直江津屋台会館で実施された上越市の姉妹都市と友好都市の観光・物産展に出展。当館の紹介ブースの設置や「うみくん」のグリーティングを実施した。
「なおえつ鉄道まつり 2024」への参画	10月12日(土)	直江津の鉄道にまつわるイベントに参画。佐渡汽船ターミナルへの活魚車出展や、入口周辺にスタンプラリーポイントを設置した。展示魚種：コブダイ、ホウボウ、ドチザメ他

北里大学海洋生命科学部 presents マリンサイエ ンスセミナー2024 秋の 実施	10月13日(日)	北里大学海洋生命科学部の教授・講師によ る、“海の生命科学”の魅力を伝える出張講義 である「マリンサイエンスセミナー」を実施 した。テーマは毒を通して生命科学の不思議 について学ぶことができる講演を行った。
夜間特別開館 「うみがたりハロウィン ナイト 2024」の実施	10月26日(土)	ハロウィンにちなみ来館者、スタッフともに 仮装し、クラフトコーナーやキャンディーブ レゼントタイムを設け、ハロウィンバージョ ンのドルフィンパフォーマンスを行う夜間 特別開館を実施した。
「上越市農林水産フェス ティバル」への出展	10月26日(土)	上越市の農林水産業の魅力を身近に感じて もらう「上越市農林水産フェスティバル」へ 出展。「うみがたりガーデン」のアクアポニッ クスの取り組みについてパネル掲示した。
「ガス水道フェア 2024」 への出展	10月26日(土)・ 27日(日)	上越市ガス水道局が主催するガス水道フェ スタ 2024に「うみがたりガーデン」のアクア ポニクスの取り組みについてパネル掲示 した。
ゴマフアザラシ子獣愛称 発表	11月1日(金)	令和6年3月24日に誕生したゴマフアザラ シの子獣について、「ツバキ」「ハロ」「ミ ツバ」「ロナ」「アオイ」の中から最多投票 数獲得の「ミツバ」に決定し、発表した。 投票期間：9月14日～10月14日
ゴマフアザラシ秋の味覚 狩りの実施	11月2日(土) ～11月24日(日) ※土日祝のみ実 施	ブドウに見立てた色付けした丸い氷をアザ ラシたちが拾う様子を、季節に合わせた味覚 狩りとして実施した。
「いつものもしも CARAVAN」への出展	11月3日(日)	楽しく防災を学ぶことができる地域一体型 のイベント「いつものもしも CARAVAN」に出 展。当館の紹介ブースの設置や「うみくん」 のグリーティングを実施した。
なおえつ屋台パークへの 出展	11月16日(土)	主催は上越市魅力創造課、業務委託は株式会 社タカヨシによる直江津屋台パークへの出 展を行った。上越市立水族博物館内で観察で きる魚種解説のレクチャーを2回行った。
「うみがたりのクリスマ ス 2024」の実施	11月30日(土)～ 12月25日(水)	館内装飾、うみがたり大水槽におけるサンタ クロースの仮装をしたダイバーによる水中 給餌や、クリスマスの要素を取り入れた「Art of Dolphin」、「舞鰐 Shinyllusion」などを実 施した。

夜間特別開館「クリスマスナイト 2024」の実施	12 月 14 日(土)	生演奏による「クリスマスコンサート」、トレーナーが特別な衣装を着用し、生演奏コラボした水中ドルフィンパフォーマンス、サンタクロースに扮したスタッフによるサンタグリーティングを実施した。 クラリネット演奏/丸山 瑞生氏、ピアノ伴奏/上野 祐子氏
干支ダイバー引継ぎ式の実施	12 月 26 日(木)	12/27(金)から始まる正月企画に先立ち、「辰」「巳」の干支ダイバーによる引継ぎ式を実施した。
「うみがたりのお正月 2025」の実施	12 月 27 日(金)～1 月 5 日(日)	館内装飾、「巳」にちなんでうみがたり大水槽における「巳」衣装ダイバーによる水中給餌、催事ホールにおける干支水槽、おみくじ販売などを実施した。
「和 水槽 ～ WABI-SABI-AQUARIUM～」の展示	12 月 27 日(金)～翌年度 4 月 13 日(日)	3 階ロビーにて、上越の風景を表現したテラリウム水槽を展示し、「和」「上越の冬」を表現した季節展示を行った。 展示生物：キンギョ(ピンポンパール)
鏡開き給餌の実施	1 月 11 日(土)～1 月 13 日(月・祝)	餌入り氷を鏡餅に見立て、スタッフが割った氷をお客さまからゴマフアザラシに与えていただく給餌イベントを実施した。
「うみがた WINTER2025」の実施	1 月 11 日(土)～4 月 13 日(日)	館内装飾、うみがたり大水槽におけるダイバーによる給餌イベント「あなたのハートを狙い撃ち♡ラブリーフィードィング」、来館やショップ利用ごとにスタンプがたまり一定数に到達するとブロマイド風カードをプレゼントする「通ってちょうだい！ブロマイド」や、バレンタイン・ホワイトデーの要素を取り入れた「Art of Dolphin」などを実施した。
アナゴの恵方巻水槽の展示	1 月 25 日(土)～2 月 2 日(日)	節分にちなみ、マアナゴの展示水槽に恵方巻を模した筒を水槽へ吊るし、同種が筒に潜り込む様子を展示した。
エビスザメ冷凍標本の展示	3 月 20 日(金・祝)～23 日(日)	糸魚川定置網で漁獲された上越では珍しいエビスザメの冷凍標本をタッチングプールにて展示した。
ゴマフアザラシのお誕生日会の実施	3 月 22 日(土)	3 月 22 日の「国際アザラシの日」に合わせ、3 月～4 月の誕生日が多いアザラシの合同誕生日会を実施した。
ハッピーモーニング 2025 の実施	3 月 23 日(日)	年間パスポート所持者への感謝と入館促進を図るため、開館前の時間帯に年間パスポート所持者を対象として、公開トレーニングやバックヤードの一部公開などの特別プログラムを含めた早朝特別開館を実施した。

「サクラ咲く 春のうみがたり 2025」の実施	3月28日(金) ～4月13日 (日)	サクラにちなんだ楽曲を使用した「Art of Dolphin」、「舞鰯 Shinyllusion」を実施した。
第100回高田城址公園観桜会への活魚車出展	3月29日(土)・ 30日(日)	観桜会に活魚車で出展し、会場を賑わせるとともにうみがたりのアクリルスタンドを販売した。 展示生物：ウツボ、コブダイ、ホシエイ他

2 教育普及事業

社会教育施設として入館者の学習ニーズに応えるために、館内ガイド、学習会などを実施し、学習メニューの充実と学習機会の増加を図るとともに、水生生物に関する情報を提供する施設として環境教育や情操教育に取り組んだ。

また、小中学校と連携し、学芸員や飼育担当職員が教育的配慮のもとに職場体験、出張授業などを行い、水生生物や自然環境について学ぶ機会を設けた。

(1) 教育プログラム（定期実施）

区 分	プログラム	件数	人数
社会教育プログラム(個人)	バックヤードツアー	505	2,765
	サケ遡上観察会、サケ放流	2	14
	エコもっと Free	7	86
社会教育プログラム(団体)	バックヤードツアー	17	379
	館内ガイドツアー	2	42
	レクチャー	1	153
	エコもっと	0	0
学校団体向けプログラム	バックヤードツアー	40	791
	館内ガイドツアー	2	32
	レクチャー	23	1,295
	職場体験	9	20
	出張授業	6	184
	エコもっと	1	18

(2) その他のプログラム（不定期実施）

事業内容	期 間	
うみがたりカレッジ公開講座「大型サメの公開解剖＆解説」の実施	10 月 14 日（月・祝）	普段見ることのできない大型魚類の解剖を行いながらサメの特徴や生態を解説することで、生きものへの気づきなど教育普及および話題創出を図った。上越近海で漁獲された体長 285cm、体重 140kg の大型サメ（クロヘリメジロザメ）の公開解剖を行った。解剖時の解説は、北里大学海洋生命科学部の朝日田卓教授に依頼し、サメ類の研究者の立場から専門的な解説を来館者に届けた。
うみがたりカレッジ出張講座「おかえりサーモン 2024 鮭遡上観察会」の実施	11 月 9 日（土）・16 日（土）	桑取川漁業協同組合と連携し、サケの遡上についての学習と河川の清掃活動を行う参加体験型プログラムを実施した。
「うみがたりガーデン 2024 成果発表会」の実施	11 月 23 日（土・祝）・24 日（日）	「うみがたりガーデン 2024」の一環として、イルカホールにてアクアポニックスの解説や新潟県立海洋高等学校の生徒による当館との取り組み成果の発表を実施した。

3 調査研究

(1) 調査研究

○ マゼランペンギンの繁殖に関する調査

鳥インフルエンザ対策マニュアルを改訂し、発生距離と対象個体の変更を行った。これにより、令和 5 年の産卵期間が 25 日で産卵数 20 卵、孵化数 3 羽、巣立ち数 1 羽であったのに対し、令和 6 年は産卵期間が 50 日で産卵数 62 卵、孵化数 16 羽、巣立ち数 10 羽と例年並みに戻すことができた。適切な時期に産卵を開始することが、その年の繁殖期間に大きな影響を及ぼすことがわかった。

○ 上越地方におけるサクラダンゴウオの分布に関する調査

新潟県内における前年度の出現時期・出現時間のピークを踏まえ、採集調査を 5 月 26 日に実施した結果、サクラダンゴウオを 7 個体採集した。採集個体のサイズから冬期に産卵された卵より孵化した個体と断定でき、このことから冬期に成熟個体が接岸および繁殖行動を行っていると予想できた。また別途、令和 7 年 1 月に成熟個体が確認されたとの情報を得たため、今後は冬期にも上越市内の分布調査、成熟個体の出現調査を行う。

○ サクラダンゴウオの長期飼育、繁殖に関する研究

令和 5 年 3 月に孵化に成功し、飼育下繁殖個体の長期飼育を進めた。令和 6 年度は飼育下繁殖個体の長期育成の他、飼育下での 4 世代繁殖にも成功し令和 6 年度では合計 929 個体の孵化仔魚を獲得した。令和 7 年 3 月には公益社団法人日本動物園水族館協会の初繁殖認定を得ることができ、特別展と併せて飼育繁殖実績を公表した。

- 上越市内におけるキタノアカヒレタビラの保全に関する調査

上越市内のキタノアカヒレタビラ生息水域において、同種の生息数調査、二枚貝生息数調査、外来種駆除を実施した。また新規放流池の選定とともに、同水域における生息種調査、二枚貝の移植実験を実施した。令和6年度は飼育環境改善と飼育個体の栄養強化により十分な成熟が見られたため、当館で初めての人工授精を行った。複数回の人工授精の結果、多くの個体の孵化し、育成に至った。
- 鯨類の飼育環境に関する調査

上越市立水族博物館鯨類飼育環境検証委員会の検証結果を踏まえ、鯨類飼育展示プールの風速や気温、個体の血液性状や餌成分などのモニタリング及び分析を継続的に実施した。得られた結果については、鯨類の飼育環境の更なる向上を図るため、鯨類の飼育展示に反映させている。
- (2) 外部機関等との共同研究

学校法人麻布獣医学園との共同研究として、微酸性電解水を使用して施設や餌の洗浄を行うことで、どのような効果があるか調査を行う。

 - ペンギンの *Aspergillus* 症に関する微酸性電解水の効果に係る研究
 - 鯨類の *Clostridium* 感染症に対する微酸性電解水の効果に係る研究
- (3) 発表等実績

指定管理者（株式会社横浜八景島）のグループ園館（横浜・八景島シーパラダイス、アクアパーク品川、仙台うみの杜水族館、羽村市動物園、台湾 Xpark）内での調査研究発表を実施するとともに、関係機関や関係団体の研究会等での発表を行った。

 - 第8回（株）横浜八景島飼育研究会：令和6年9月27日（金）
 - ・ヤマメにおけるテトラオンクス症の治療について
 - ・うみがたり大水槽循環ポンプ停止による変化について
 - 第9回（株）横浜八景島飼育研究会：令和7年3月14日（金）
 - ・開放式水槽におけるアマモ sp. の育成と経過
 - ・2024年マゼランペンギンの繁殖について
 - JAA（日本水族館協会）第5回水族館研究会：令和7年3月5日（水）、6日（木）
 - ・ヤマメにおけるテトラオンクス症の治療について（ポスター発表）

4 施設・設備の機能向上

飼育展示設備の機能向上に取り組み、施設の魅力や機能をより一層高めた。

○ 主な取組

項 目	内 容
空冷ヒートポンプモジュールチラー（CR-1-3、CR-1-4）オーバーホール	水槽の飼育水を冷却又は加温するための空冷ヒートポンプモジュールチラーの予防保全として、オーバーホールを実施した。
イルカプールろ過循環ポンプ（PF-64c）オーバーホール	イルカプールの飼育水をろ過循環するためのポンプの予防保全として、オーバーホールを実施した。
日本海大水槽ろ過循環ポンプ（PF-13a、PF-13b）オーバーホール	日本海大水槽の飼育水をろ過循環するためのポンプの予防保全として、オーバーホールを実施した。
ふれんどプールろ過循環ポンプ（PF-62a）オーバーホール	ふれんどプールの飼育水をろ過循環するためのポンプの予防保全として、オーバーホールを実施した。
ペンギンプールろ過循環ポンプ（PF-61a）オーバーホール	ペンギンプールの飼育水をろ過循環するためのポンプの予防保全として、オーバーホールを実施した。
逆洗用ポンプ（SSP-3）オーバーホール	水槽のろ過器を逆流洗浄しろ過性能を維持するためのポンプの予防保全として、オーバーホールを実施した。

5 情報発信

施設の認知度向上やブランド化を図り入館促進に繋げるため、報道機関に向けた情報発信や SNS による情報発信を行うとともに、さまざまな媒体において、水族博物館の展示や企画が情報として取り扱われた。

(1) 情報発信

単位：件

区分	プレスリリース	情報誌	X	Instagram	LINE	YouTube	note	合計
4 月	1	1	64	38	2	0	0	106
5 月	1	1	61	20	2	0	1	86
6 月	1	1	44	25	1	0	0	72
7 月	3	0	32	29	0	0	0	64
8 月	1	1	62	35	2	1	0	102
9 月	4	0	34	25	4	0	0	67
10 月	2	1	44	16	1	0	0	65
11 月	1	0	30	21	5	0	0	57
12 月	3	1	39	17	3	0	0	63
1 月	6	1	35	14	2	1	0	59
2 月	0	1	40	16	1	0	0	56
3 月	3	1	43	18	3	0	0	68
合計	26	9	528	274	26	2	2	867

(2) 報道機関等取扱

単位：件

区分	テレビ	新聞	ラジオ	WEB	雑誌他	合計
4月	11	16	6	67	6	106
5月	10	12	5	45	2	74
6月	12	12	2	144	4	174
7月	30	24	7	171	3	235
8月	8	11	0	67	0	86
9月	6	10	0	78	3	97
10月	14	14	0	241	3	272
11月	11	8	0	52	2	73
12月	10	8	0	106	3	127
1月	8	16	0	263	2	289
2月	5	6	0	23	3	37
3月	10	10	0	198	1	219
合計	135	147	20	1,455	32	1,789

6 入館者数

夏期、冬期それぞれ積極的な施策展開と情報発信を実施。

夏期に「すみっこぐらし」冬期に「クレヨンしんちゃん×謎解き」とのコラボを実施し、一定の集客を得ることができた。

○ 月別入館者数

単位：人

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
有料	25,049	32,509	25,334	47,218	87,890	36,988	25,226	20,183	11,280	12,135	8,484	22,313
無料	75	166	99	191	62	129	187	235	23	20	26	45
合計	25,124	32,675	25,433	47,409	87,952	37,117	25,413	20,418	11,303	12,155	8,510	22,358
区分	合計											
有料	354,609											
無料	1,258											
合計	355,867											

繁忙期の入館者数

- ・ゴールデンウィーク期間（4月27日～5月6日）：26,824人
- ・お盆期間中（8月10日～8月18日）：47,847人
- ・年末年始（12月28日～1月3日）：6,253人

○ 年度別入館者数

単位：人

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
732,759	514,946	206,227	245,080	335,963	359,933	355,867

合計
2,750,775

8 入館者動向（入館者アンケートによる）

(1) 男女別

単位：％

男性	女性	その他	合計
41.0	57.2	1.8	100.0

(2) 年齢層別

単位：％

10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
8.1	19.8	24.3	21.0	13.1	8.1	4.5	1.1	100.0

(3) 形態別

単位：％

家族	友人	カップル・夫婦	1人	その他	合計
53.0	10.6	21.1	13.6	1.7	100.0

(4) 交通手段別

単位：％

自動車	バス	電車	自転車・徒歩	その他	合計
80.4	2.1	14.1	2.5	0.9	100.0

(5) 居住地別

単位：％

上越	県内(上越以外)	長野	富山	その他	合計
16.6	27.2	24.0	8.4	23.8	100.0